

Journal of Cancer Supportive Care(がんサポーターティブケア)学会誌査読体制

1. 査読体制

査読体制は、査読者、担当編集委員、責任編集者(編集委員長・副委員長)、編集部から構成される。

2. 査読者

査読者は会員から公募して任命する。

3. 査読者の役割

査読者は、投稿論文を「Journal of Cancer Supportive Care 査読マニュアル」を用いて評価し、査読結果を担当編集委員に提出することにより編集委員会に掲載可否の判断材料を与える。

4. 担当編集委員の役割

担当編集委員は、査読者とともに、論文をよりよいものにしていく観点から査読プロセスをすすめる。査読結果の集約、責任編集者に対する査読報告および掲載可否についての評価、投稿者に対する査読結果報告案の作成を行う。担当編集は輪番制とする。

5. 責任編集者の役割

責任編集者は、担当編集者とともに査読結果及び担当編集委員からの掲載可否についての評価をもとに、掲載可否について最終決定を行う。

6. 編集部の役割

編集部は、投稿に関する窓口業務、担当編集委員および責任編集者との連絡、論文公開に関する窓口業務を行う。

7. 論文に対する担当編集委員および査読者の選出

- 1) 責任編集者は、投稿論文に関し、適切と思われる編集委員に担当を依頼する。
- 2) 担当編集委員は、投稿論文に対し、適切と思われる査読者 2 名に査読を依頼する。
- 3) 査読者の決定においては、査読可能な研究方法や研究テーマに基づき、選出する。
- 4) 査読者の判断が大きく割れた場合など、第 3 の査読者をたてることもある。
- 5) 担当編集委員および査読者の選出にあたっては、公平性を確保するため、著者(共著者を含む)および謝辞に記載されている者、著者との間に業務上の直接的な利害関係がある者、公平に審査できない立場にある者については除外する。
- 6) 査読者には、職種、学位の有無、投稿歴、専門分野、所属部会およびワーキンググループ等について事前に情報の提出を依頼する。